

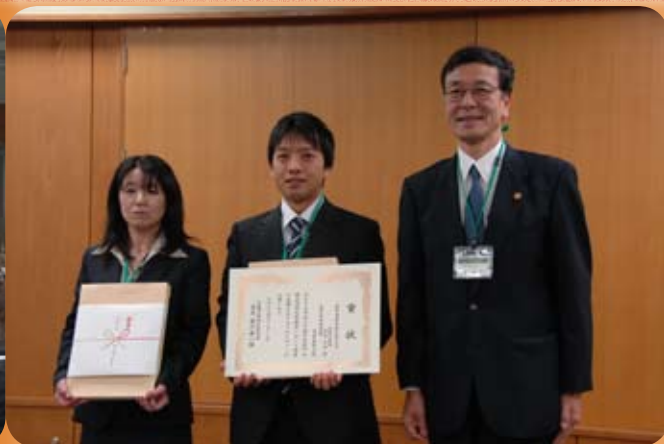


トピックス

平成24年度 森林・林業交流研究発表会



京都府立北桑田高等学校



鳥取県農林総合研究所・鳥取森林管理署（合同）



山口森林管理事務所

11月27日（火）～28日（水）、近畿中国森林管理局大会議室において、「森林・林業交流研究発表会」を開催しました。

（独）森林総合研究所森林農地整備センター、森林ボランティアNPO法人、鳥取県農林総合研究所、高等学校、各森林管理署などから、21課題の発表が行われました。

歴史ある北山杉丸太の苦境を知り製品開発に取り組んだ京都府立北桑田高校、コンテナ苗・セラミック苗を用いて造林コスト削減に取り組む山口森林管理事務所、ナラ枯れ対策として割材によるカシノナガキクイムシ防除に取り組んだ鳥取県農林総合研究所・鳥取森林管理署の3課題が局長賞を受賞し、全体では9課題が各賞を受賞しました。

また、特別発表として、（※）大阪府立環境農林水産総合研究所、（独）森林総合研究所関西支所、（独）森林総合研究所関西育種場からの報告と、そして今年度開校した京都府立林業大学校からの発表も行われ、研鑽・交流の場となりました。

（※地独：地方独立行政法人）

各賞の受賞者は次のとおりです。

平成24年度森林・林業交流研究発表会表彰一覧

賞	発表課題	所属	発表者
近畿中国森林管理局長賞	北山丸太を守れ	京都府立北桑田高等学校	濱中 七海 武田 将成 松本 祐典
近畿中国森林管理局長賞	コンテナ苗及びセラミック苗を用いた種々の造林方法の比較～造林コスト削減の可能性の検証～	山口森林管理事務所	西村 亮 上原 緑
近畿中国森林管理局長賞	鍋割国有林におけるナラ枯れ防除試験	鳥取県農林総合研究所 鳥取森林管理署	宮本 和則 原田 美智代
森林総合研究所関西支所長賞	人工林に介在する天然性広葉樹の更新状況	森林技術センター	高井 和巳 矢野 宣和
林木育種センター関西育種場長賞	安宅林国有林の松くい虫被害対策について	石川森林管理署	中田 有香
日本森林技術協会理事長賞	紀州山地における森林作業道作設の一考察について	和歌山森林管理署	川畑 弘樹
日本森林林業振興会会長賞	シカ防護柵を用いた緑化への試みー大杉谷国有林を事例としてー第2報	三重森林管理署	榎谷 仁志
森林・林業交流研究発表会審査委員長賞	民官協同による自然休養林の環境整備・保全活動について～明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の取組～	京都大阪森林管理事務所 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会	岡本 哲知 鎌谷 計三
森林・林業交流研究発表会審査委員長賞	作業道開設に伴う軟弱土壌における丸太組（のり留工）と路体の研究	（独）森林総合研究所 森林農地整備センター 中国四国整備局 広島水源林整備事務所	井上 弘一 有村 佳将

（名前は敬称省略省略）

また、11月20日（火）に林野庁で開催された国有林野事業業務研究発表会において27課題が発表・審査されました。近畿中国森林管理局からは前年度受賞した4課題を推薦し、そのうち3課題が入賞を果たしました。

《国民の森林部門》 林野庁長官賞優秀賞

「嵐山国有林における地元・専門家・行政との連携について」 ^{やつだ}八田 祥吾（京都大阪森林管理事務所）

《森林ふれあい部門》 全国森林レクリエーション協会会長賞

「夜叉ヶ池の貴重な自然環境を守りぬく」 川崎 正俊（夜叉ヶ池パトロール員の会）、武田 尚之（福井森林管理署）

《森林技術部門》 林業機械化協会会長賞

「列状間伐における林況変化把握と経営的評価」 矢野 宣和、山口 歳弘（森林技術センター）



《国民の森林部門》林野庁長官賞優秀賞



《森林ふれあい部門》



《森林技術部門》

地域ニュース

衣笠山森林教室を実施

【京都大阪森林管理事務所】1月9日（水）、衣笠山国有林（京都市）において金閣小学校の5年生（90名）の児童を対象とした「森林教室」が開催されました。

当日は、京都森林インストラクター会より13名、京都大阪森林管理事務所より流域管理調整官、森林官、係員の3名がスタッフとして参加しました。

開会の挨拶として京都森林インストラクター会の篠部会長より、「本日は、皆さんの身近に所在する衣笠山国有林において、森林の持つ公益的機能、森林の働き、木の利用、そして森林は私たちが生きていくために必要な水と空気、動植物を育む大切な森であることを体験して頂く野外授業を行いますので、勉強して下さい。」との挨拶がありました。

まず、最初に体育館でインストラクター会の才本さんが先生となり、「森林の働きと木材の利用」についてスライドを使い説明を行った後に、6班に分かれて衣笠山国有林の野外観察授業に歩いて出発しました。

現地では、スライドで勉強したことを基に、森林の働き等について各班の先生役であるインストラクター会スタッフより説明があり、児童達からは素朴な質問から専門家顔負けの質問まで投げかけられスタッフが慌てる場面も見受けられました。

また、児童達の獣道で滑ったり、転んだりしても笑いながら楽しく歩いている姿が印象的でした。



森林インストラクターの説明を熱心に聞く生徒

衣笠山国有林から小学校の体育館に戻り、野外授業の「ふりかえり」として各グループによる話し合いがなされ、結果をグループの代表者が元気よく発表を行い、本日の森林教室を終了しました。



国有林が果たすべき今後の役割について 職員全員で再認識

【石川森林管理署】 12月17日（月）、平成25年度から国有林野事業の一般会計化への移行を踏まえ、管内の国有林が果たすべき今後の役割について、職員の共通認識を醸成することを目的に職場内研修を実施しました。

当署では、国有林が有する機能を最大限に活かし、民有林と連携しながら、県民が安全、安心で、豊かな生活空間を創造することを目標に、①防災機能を高める海岸林の保全、②治山事業の推進、③白山山系を中心とする生物多様性の保全等について関係機関と連携して取り組むこととしています。研修に当たっては、これらをテーマに石川県・環境省の協力も得ながら実施しました。

海岸林の保全について、石川県からクロマツ人工林の本数調整の施業方法や広葉樹への樹種転換の課題等について発表があり、当署からは、加賀海岸国有林において天然更新したクロマツ一斉林の効率的な本数調整を実施するため、試験的に実施している重機（バックホウ）による本数調整の実施結果について発表しました。

白山山麓のシカの被害状況について、石川県から現状では、被害はまだわずかであるが、今後シカの動向を把握するためのモニタリング調査の重要性が発表されました。

環境省からは、登山者の靴に種が付着するなどして、白山国立公園に侵入している外来植物（※オオバコ等）について、現状及び除去の取組みが発表され、公園内の国有林内でも外来植物のオオバコの除去に取り組んでいることから連携して取り組んでいこうとの提案がありました。

このほか、当署から山腹工事で実施している郷土種（自然落下による種子）による植生回復のための吹き付け工について発表しました。

今回のように他の機関を交えた発表形式の職場内研修は初めての取組みでしたが、職員にとっては国有林のみの視点ばかりではなく、石川県内の森林・林業の課題や国有林周辺でおきていることなどに広く目を向けることができ、当署管内の国有林が果たすべき今後の役割について考える機会になったのではないかと考えています。

また、今回の研修を踏まえ、次回は現地検討会を実施しようとの提案もあり、今回の研修が新たな展開に発展することを期待しているところです。

今後もこのような取組みを通じ、国有林が果たすべき役割について、石川県における国有林の立ち位置を確認しながら、地域と一体となって森林・林業の再生に向け努力してまいりたいと考えています。

（※ 低地性のオオバコと高山植物のハクサンオオバコとの交雑等により白山の生態系等に悪影響を与えることが危惧されています。）

健康管理について

【総務部 職員厚生課】 立春が過ぎ、季節は春へと移り変わりますが、まだまだ冷たい風が吹き荒れ、寒さのゆり戻しがあるこの季節です。暖かい室内で過ごしがちで、運動不足になる方もいるかも知れません。体力だけでなく病気に対する抵抗力も低下するこの時季の健康管理には一層の気配りが必要です。

以下にそのポイントをいくつかあげてみます。

1. 温度差

冬の寒さは人の活動を鈍らせます。また、血管を収縮させて、血圧をあげます。人は、寒い場所に出たときに身を縮めますが、同じ事が血管にもおこっています。また、寒さだけでなく温度差も血管に大きな負担をかけます。温度差が大きいと血管の拡張と収縮が急激に行われるため、血圧も急激に変化し、これが心臓や脳血管の障害を引き起こすのです。暖かい部屋から寒い部屋に移動するときは、深呼吸をする事をおすすめします。深呼吸によって血圧の上昇が多少でも抑えられ、血管の中に酸素が沢山送り込まれるので、血管への負担が軽減されるのです。

部屋の暖房は、設定温度を20度前後の低めにして扇風機などの活用で全ての部屋に暖かい空気が回るように工夫をしてみましょう。朝布団から出るときは、深呼吸をして布団の中で靴下をはくのもよいでしょう。足は寒さに敏感です。靴下やスリッパなどで保護しましょう。

その他、身の回りのちょっとした温度差に対して工夫を凝らしてみましょう。

2. 寒気に注意

風邪は、冬に限らず一年中いつでもひきますが、寒い季節にひくことが多くなります。風が強いと、実際の温度よりも体感温度が低くなります。冬の冷たく乾燥した空気は皮膚や鼻や喉、気管などの粘膜の抵抗力に悪影響を与え、風邪や気管支炎を起こしやすくなります。風邪の原因の大部分はウイルス感染によるものですが、インフルエンザの場合は、風邪に比べて重症化しやすいので、予防注射や人混みをさけるといった注意が必要です。また、手洗い、うがいをこまめに行うことも予防策のひとつです。

風邪はひき始めが肝心です。温かくしてゆっくり休み、ビタミンと糖質、水分を十分にとりましょう。粥、スープ、鍋等にバランスよく消化によい具を入れるなどの工夫と、果汁などで、ビタミン補給を行う工夫があります。また、風邪の時は、下痢や嘔吐を起こしやすいので、食べたいものを食べたいときに食べることをおすすめします。

3. お風呂

寒くなると血液の循環が悪くなり、手足や腰などがいつも冷たいという人は、ユックリとお風呂に浸かることをおすすめします。お風呂にはいるときの注意点は、脱

衣所を温かくして、38度から40度くらいのぬるめのお風呂に、10～15分程度ゆっくりつかることです。入浴は体を清潔にするほか、全身を暖めて、血液の循環をよくして、疲労を回復させます。また、薬湯は保温効果が強いので、風邪の予防にもなります。リラックスもかねて、市販の入浴剤や、ユズやショウガなどをお風呂に入れることもよい効果があります。冬の浴室は寒くなりやすい場所です。先に述べた温度差による、急激な血圧の変化による体への負担をなくすために、お湯を早めにはり、浴室を暖めるなどの工夫も大切です。

4. 衣服の選び方

衣服は軽くふっくらとしていて、空気をため込むタイプの物をおすすめします。空気の層によって、体温と外気が遮断され保温効果が強くなります。また、厚手の物一枚より、薄手の物を重ね着する方が効果的です。それで、えり、足下などの開口部は小さく、身ごろはゆったりとした形の物がいいでしょう。

5. その他

冷え切ったトイレは排泄のいきみと合わせて血圧を急上昇させます。トイレなど、部屋以外の場所の暖房への心配りや、柑橘類の摂取によるビタミンCの補給、玄米や大豆で、ビタミンEを補給し血液の循環をよくする工夫なども生活に取り入れてみましょう。

冬の健康管理に留意し、健やかで、快適な冬の生活を過ごせるよう、工夫をしてみましょう。

お知らせ

シンポジウム開催のお知らせ

1. 開催日：2月23日（土）14：00～17：00
2. 開催場所：AP 梅田 会議室BCD
（大阪市北区曽根崎新地 2-3-21 axビル4F）
3. 対象者：一般の方および行政担当者
4. 入場料：参加無料
5. テーマ：シカと森と人との葛藤
ーいかに森を育み、シカを管理するのかー

6. その他

当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。（事前申し込み：2月15日まで）
お申込みアドレス：

<https://system.formlan.com/form/user/osugidanisika/1/>
詳しい情報はこちら：近畿中国森林管理局ホームページ
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/oosugidani.html

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【2月の展示スケジュール】

- 1/7～未定 森のパーティ 【スモールアート協会】
2/1～3/31 富山発！優良無花粉杉「立山 森の輝き」BOX 展示
2/12～3/31 びわ湖水源林の間伐材利用 BOX 展示

官庁公開フェスティバル2013

一般職試験（大卒程度）等により採用される官庁の職場を公開し、見学・職員との懇談・質疑などができる体験型イベントです。

国家公務員を希望される方は、ぜひご参加ください。

開催日 平成25年2月19日 火曜日

開催時間

第1回 10：00～11：30

第2回 13：00～14：30

第3回 15：30～17：00

定員 各回20人

受付期間 など

自 平成25年2月7日（木曜日）午前10時より

至 平成25年2月18日（月曜日）午後5時まで

（平日 午前10時～午後5時まで）

※ 参加希望者が定員に達した場合は、予約受付を終了させていただきます。

予約先 近畿中国森林管理局 総務課（06-6881-3421）

内容

職場＆業務の紹介・見学、職員との懇談＆質疑など

その他

参加希望の方は、必ず予約が必要です。

参加は無料です。

学年次は問いません。（1、2回生の参加もお待ちしております。）

細等は http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/soumu/g-festival_2013.html をご覧ください。

気比の松原 100年構想シンポジウム

気比の松原は、風光明媚な松原として、また、市民の生活を守るための松原として、古くから人々に親しまれてきました。

”白砂青松”日本の原風景の一つとも言える美しい風景をこれからも守り残していくために気比の松原について、みんなで一緒に考えてみませんか？

日時

平成25年2月23日 土曜日

13：00～16：00

会場

きらめきみなと館 小ホール

〒914-0078 敦賀市桜町1-1

申込み・問い合わせ先

株式会社 環境アセスメントセンター（担当：上原・金倉）

〒914-0058 福井県敦賀市三島町1-3-25

TEL：0770-24-5671 FAX：0770-24-5672

E-mail：uehara@eac-net.co.jp

※事前申し込みの締め切りは、2月10日までとなっておりますが、当日参加も可能です。